

問合せ先

警備救難部 国際刑事課

専門官 島谷(しまや):密輸担当

不法入国対策官 宮濱(みやはま):密航担当

Tel 03 - 3591 - 6361(内線)5502、5504

直通 03 - 3581 - 1701

平成18年 1月13日

海上保安庁

平成17年における密輸及び密航取締り状況について

密輸取締り状況

1 密輸入事件等の検挙状況

平成17年の薬物・銃器押収事案数は9件であり、平成16年に比べ半減したものの、海上保安庁としては初めて偽造クレジットカード用プラスチックカードの無許可輸入事件を摘発

2 薬物・銃器事犯におけるロシア籍船又はロシア人船員の高い関与率

ロシア籍船又はロシア人船員が関与したものは、総摘発件数中の約9割という高い関与率

1. 取締り状況 (参考資料「最近における薬物・銃器事犯の摘発状況等」参照)

- (1) 平成17年に当庁が関与した薬物の押収事案数(注:海上保安庁が単独又は他機関と合同で薬物を押収した事案の数)は、8件であり、平成16年に比べ、押収事案数は8件減少した。
- (2) また、銃器の押収事案数(注:海上保安庁が単独又は他機関と合同で銃器等を押収した事案の数)は、1件であり、平成16年に比べ、押収事案数は2件減少した。
- (3) その他、偽造クレジットカード用プラスチックカードの無許可輸入事件を2件、盗難自動車の無許可輸出未遂事件を1件摘発した。

2. 特徴 (参考資料「平成17年の主要事件概要(密輸)」参照)

薬物・銃器事犯におけるロシア籍船又はロシア人船員の高い関与率

薬物・銃器事犯においては、従来からロシア籍船又はロシア人船員が関与した事犯数が、全体の多くを占めており、平成16年は、総摘発件数の約5割と高い関与率であったところ、平成17年にあつては、総摘発件数の約9割とさらに高い関与率を記録した。引き続き、ロシア籍船又はロシア人船員による薬物・銃器事犯は、非常に深刻な情勢にある。

偽造クレジットカード用プラスチックカードの無許可輸入事件の摘発

薬物・銃器事犯以外について、海上保安庁では、6月、大阪南港、また、7月、塩釜港のそれぞれにおいて、警察及び税関と連携し、入港した中国籍貨物船の中国人乗組員による偽造クレジットカード用プラスチックカードの無許可輸入事件を摘発した。

海上保安庁による同事件の摘発は初めてのことであり、また、国内において偽造クレジットカード犯罪が多発していることから、今後、水際での同種事案の発生が懸念される。

・ ロシア籍船舶又はロシア人船員が関与した薬物・銃器事犯数

年	薬物事犯	銃器事犯	合計	総摘発件数
平成14年	4	1	5	14
平成15年	4	1	5	17
平成16年	8	2	10	19
平成17年	7	1	8	9

参考資料

最近における薬物・銃器事犯の摘発状況等

最近の主な薬物・銃器事犯摘発の状況

平成17年の主要事件概要(密輸)

船舶利用による集団密航取締り状況

1 集団密航事件検挙の状況

平成17年の摘発は、3件、9名であり、平成16年と比較して同件数、人数で1名の減少

2 少人数での密航が継続

平成17年は、平成16年に引き続き密航者10名以上の集団密航事件の摘発は無く、小口化の傾向が継続

1. 取締り状況

- (1) 平成17年に海上保安庁及び警察が検挙した集団密航事件（2人以上の不法入国者が存在する事件）は3件、密航者（不法入国者をいう）は9名であり、検挙件数、人数ともに平成16年とほぼ同数であった。
- (2) 平成17年に検挙した密航者は、9名全員が中国人で、直接中国から来航している。

これら密航の手口としては、約1年ぶりにコンテナに潜伏していたもの（コンテナ密航）が発生したほか、船員が船倉内に密航者を隠匿していたもの、偽造旅券を行使したものであった。

2. 特徴

営利目的の船員が関与した密航の摘発

平成17年1月5日、横浜港に入港した中国大連仕出しのコンテナ船「SITC DALIAN」を横浜海上保安部等が船内検索したところ、船倉内に潜伏していた中国人密航者2名を発見、不法入国容疑で逮捕するとともに、営利の目的でこれら密航者を隠匿していた船員1名を逮捕した。

最近の密航は、船員が賃金を補ったり、小遣い金を稼ぐ目的で自室、自己管理の倉庫、共用区画等に少人数の密航者を隠匿する手口が半数以上を占めている。

3 . 集団密航事件の傾向

最近の集団密航事件は、過去多発した仕立船によるものや隠し部屋・隠し区画等に大量の密航者を隠匿するもの等悪質かつ大規模な密航事件が見られなくなり、検挙件数、人員ともに減少傾向が顕著になっている。

この減少傾向の理由としては、外国治安機関との情報交換等連携強化、警察等国内関係機関と連携した取締りの強化、国際航海船舶及び国際港湾施設でのテロ防止対策の強化等により、水際における監視体制が強化され密航阻止の効果が上がっているものと考えられる。

しかしながら、入国管理局の統計によれば、海空港における上陸拒否者数は平成16年には1万人以上もあり、何らかの方法で我が国への入国を望む外国人の存在が多数認められ、これら我が国へ入国を望む外国人が、船舶を利用し我が国へ密航を企てる懸念があることから、引き続き密航に対する厳重な警戒が必要である。

4 . その他

【不法出国企図事件の発生】

近年、我が国に不法滞在しながら生活基盤を確立している外国人が、出身国に居住する親族の不幸等で一時的な帰国を目的として、正規の出国手続きを取らずに、ブローカーの手引き等により貨物船やフェリーに潜伏し、不法出国を企てる不法出国企図事件が発生しており、これら事犯への取締りの強化が必要である。

平成17年に海上保安庁及び警察が検挙した不法出国企図事件は2件、検挙者は6名で、その内5名が韓国人であった。

参考資料

船舶利用集団密航水際阻止状況

船舶利用集団密航者国籍別検挙等状況

過去の主な船舶利用集団密航事例

平成17年の主要事件概要（密航）

最近における薬物・銃器事犯の摘発状況等

1. 薬物事犯の摘発状況

区分	年別	12年	13年	14年	15年	16年	17年
押収事案数 (注)		10	10	14	13	16	8
押 収 量	覚せい剤	490.0kg	13.8kg 861錠	387.9kg 2錠	1.9kg	109.8kg	0
	大麻	13.2kg	6.8kg	0.1kg	5.2kg	0.2kg	0.3kg
	麻薬	0	8.4kg	5.0kg	0	0.002kg 4,997錠	0.002kg
	あへん	2.0kg	0	0	4.2kg	0.0004kg	0

(注) 当庁が単独又は他機関と合同で薬物を押収した事案の数

2. 銃器事犯の摘発状況

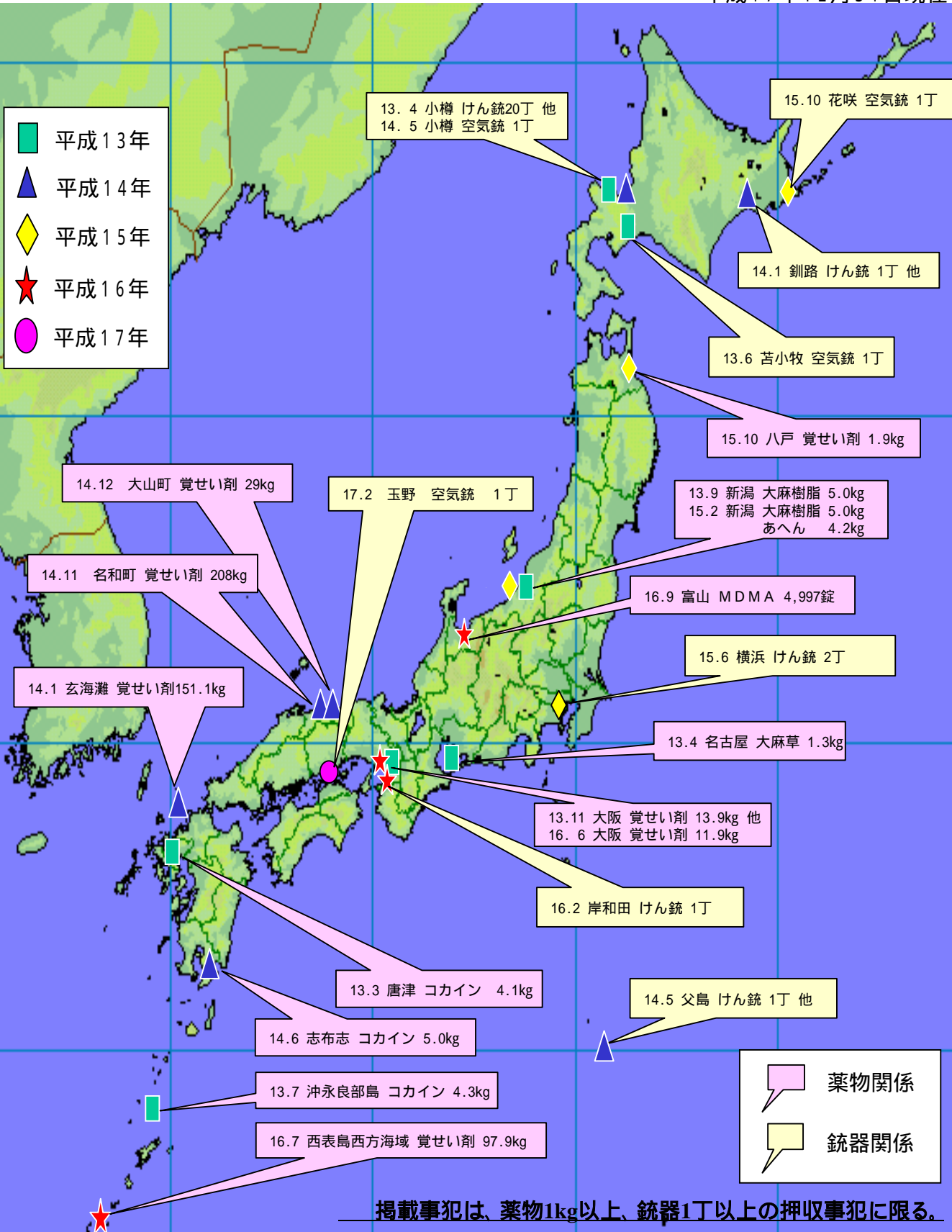
区分	年別	12年	13年	14年	15年	16年	17年
押収事案数 (注)		6	5	4	4	3	1
押 収 量	銃砲(丁)	106	24	3	4	1	1
	けん銃	101	20	2	2	1	0
	実包(発)	1,131	318	58	75	6	0

(注) 当庁が単独又は他機関と合同で銃器等を押収した事案の数

最近の主な薬物・銃器事犯摘発の状況

平成17年12月31日現在

- 平成13年
- ▲ 平成14年
- ◆ 平成15年
- ★ 平成16年
- 平成17年



- 薬物関係
- 銃器関係

掲載事犯は、薬物1kg以上、銃器1丁以上の押収事犯に限る。

平成17年の主要事件概要（密輸）

1. カンボジア籍貨物船乗組員に係る空気銃不法所持事件

2月、玉野海上保安部は、税関と合同で岡山県玉野市宇野港に入港したカンボジア籍貨物船「T A I S」(総トン数2,679トン、ロシア人11名乗組み)の立入検査を実施中、ロシア人三等機関士居室及び同人身体に隠匿所持していた空気銃1丁及び金属製弾丸多数を発見、押収し、同人を銃砲刀剣類所持等取締法違反で通常逮捕した。



隠匿されていた空気銃



多数の金属製弾丸

2. 北朝鮮籍貨物船乗組員に係る麻薬不法所持事件

9月、舞鶴海上保安部は、警察、税関、入管と合同で舞鶴港に入港した北朝鮮籍貨物船「NAM PO」(総トン数398トン、北朝鮮人15名乗組み)の立入検査を実施中、当庁職員が同船機関長室机の上引き出し内から封筒に入った薬物様のものを発見し、鑑定の結果、麻薬であることが判明したことから、同船機関長を麻薬及び向精神薬取締法違反で通常逮捕した。



北朝鮮籍貨物船「NAM PO」



発見された麻薬

3. カンボジア籍貨物船乗組員に係る大麻不法所持事件

10月、紋別海上保安部は、税関と合同で紋別港に入港したカンボジア籍貨物船「TRINITYY」(総トン数186トン、ロシア人14名乗組み)の立入検査を実施しようとしたところ、同船甲板員が岸壁上にビニール袋を投棄、同袋内から大麻様のものを発見、押収し、関与した同船甲板員及び船長を大麻取締法違反で通常逮捕した。



ビニール袋に入れられていた大麻



カンボジア籍貨物船「TRINITYY」

4. 中国籍貨物船乗組員に係る偽造クレジットカード用プラスチックカード無許可輸入事件

6月、大阪海上保安監部は、警察、税関と合同で大阪南港に入港した中国籍貨物船「TAI SHUN」から無許可で輸入され偽造クレジットカード用プラスチックカード1,204枚(電磁的記録なし)を同船が着岸していた岸壁付近で発見、押収し、関与した同船中国人二等機関士及び操機長を支払用カード電磁的記録不正作出準備容疑で通常逮捕した。



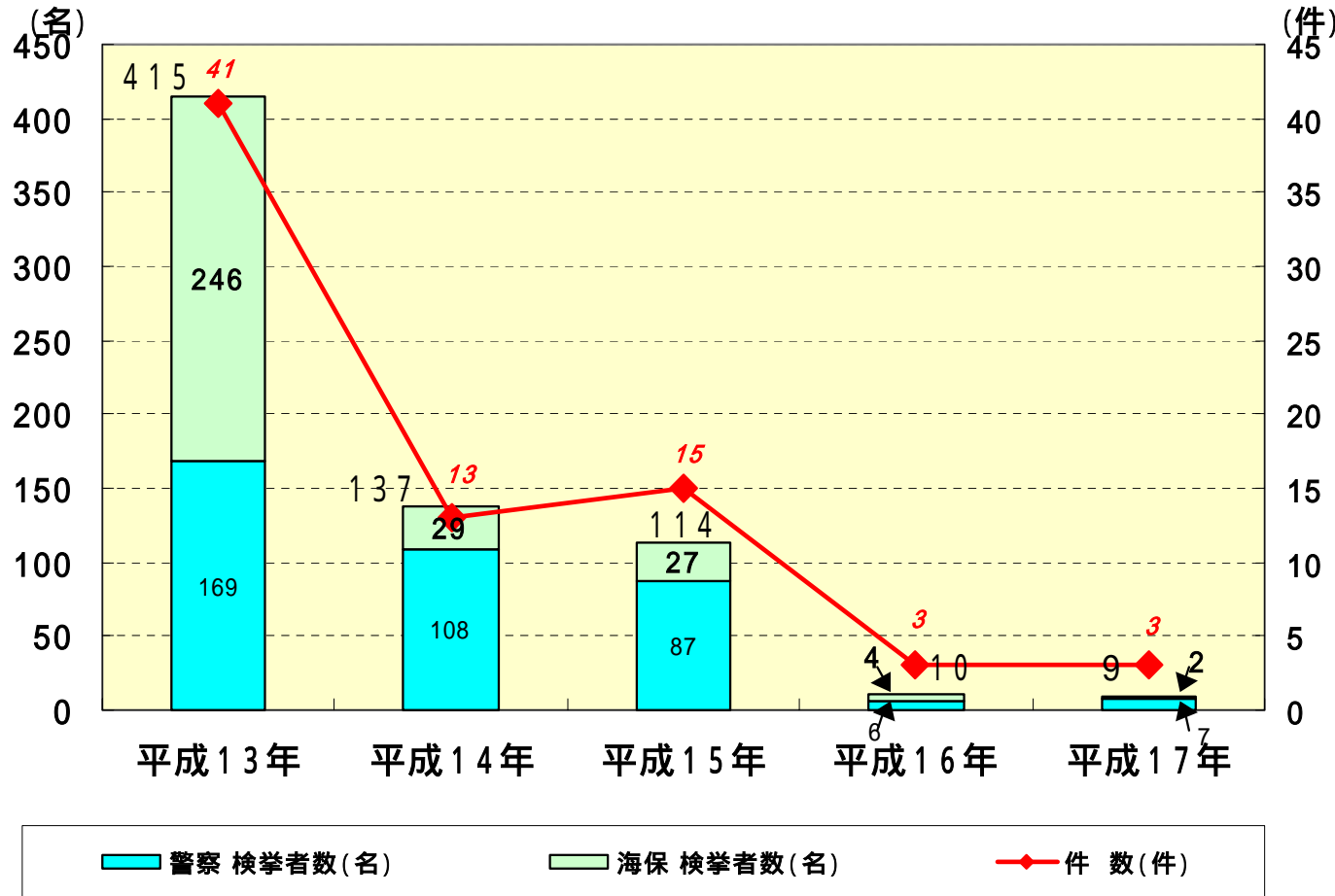
偽造クレジットカード用プラスチックカードが放置されていた状況



偽造クレジットカード用プラスチックカード
(電磁的記録なし)

船舶利用集団密航水際阻止状況

海上保安庁
(警察検挙分を含む)



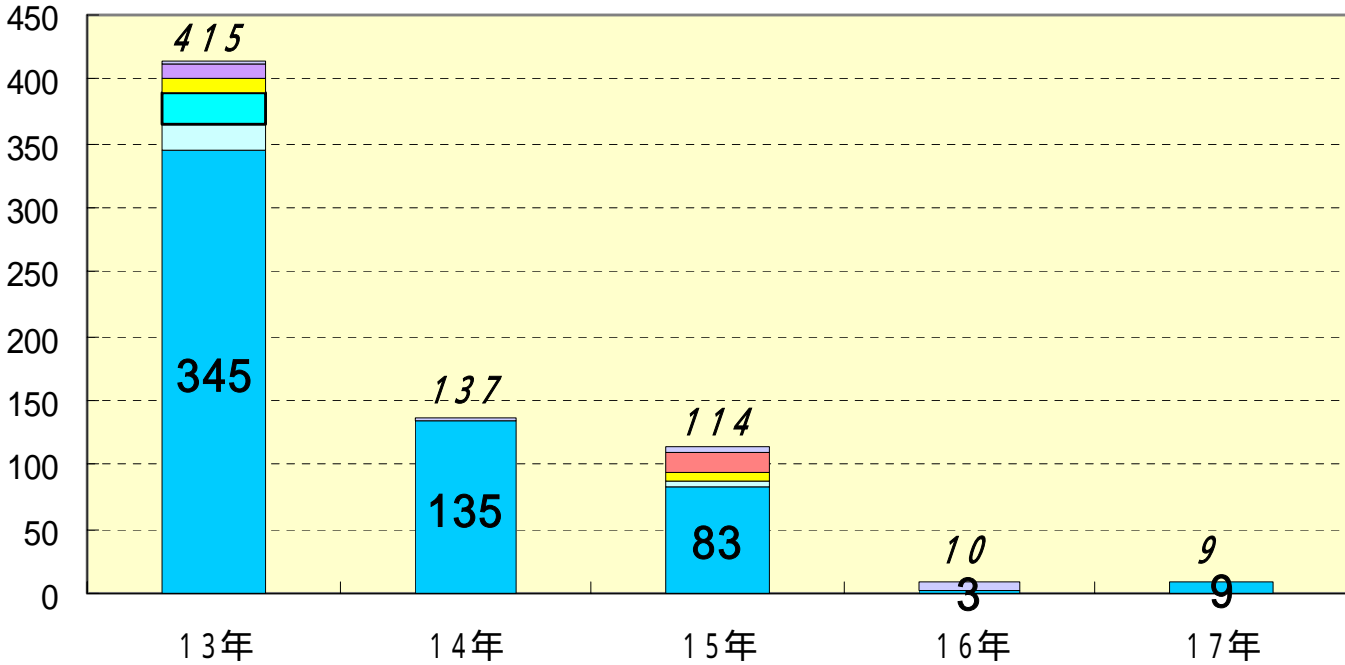
	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
件数 (件)	41	13	15	3	3
海保 検挙者数(名)	246	29	27	4	2
警察 検挙者数(名)	169	108	87	6	7
検挙者数 計(名)	415	137	114	10	9

(注) 「集団密航」とは、2名以上で密航してきたものをいう。
警察検挙分を含む。

船舶利用集団密航者国籍別検挙等状況

海上保安庁
(警察検挙分を含む)

(名)



■ 中国 ■ バングラデシュ ■ パキスタン ■ イラン ■ タイ ■ フィリピン ■ ミャンマー ■ その他

単位:名

	13年	14年	15年	16年	17年
中国	345	135	83	3	9
バングラデシュ	21	0	4	0	0
パキスタン	0	0	0	0	0
イラン	24	0	0	0	0
タイ	11	0	7	0	0
フィリピン	0	0	15	0	0
ミャンマー	12	0	0	0	0
その他	2	2	5	7	0
合計	415	137	114	10	9

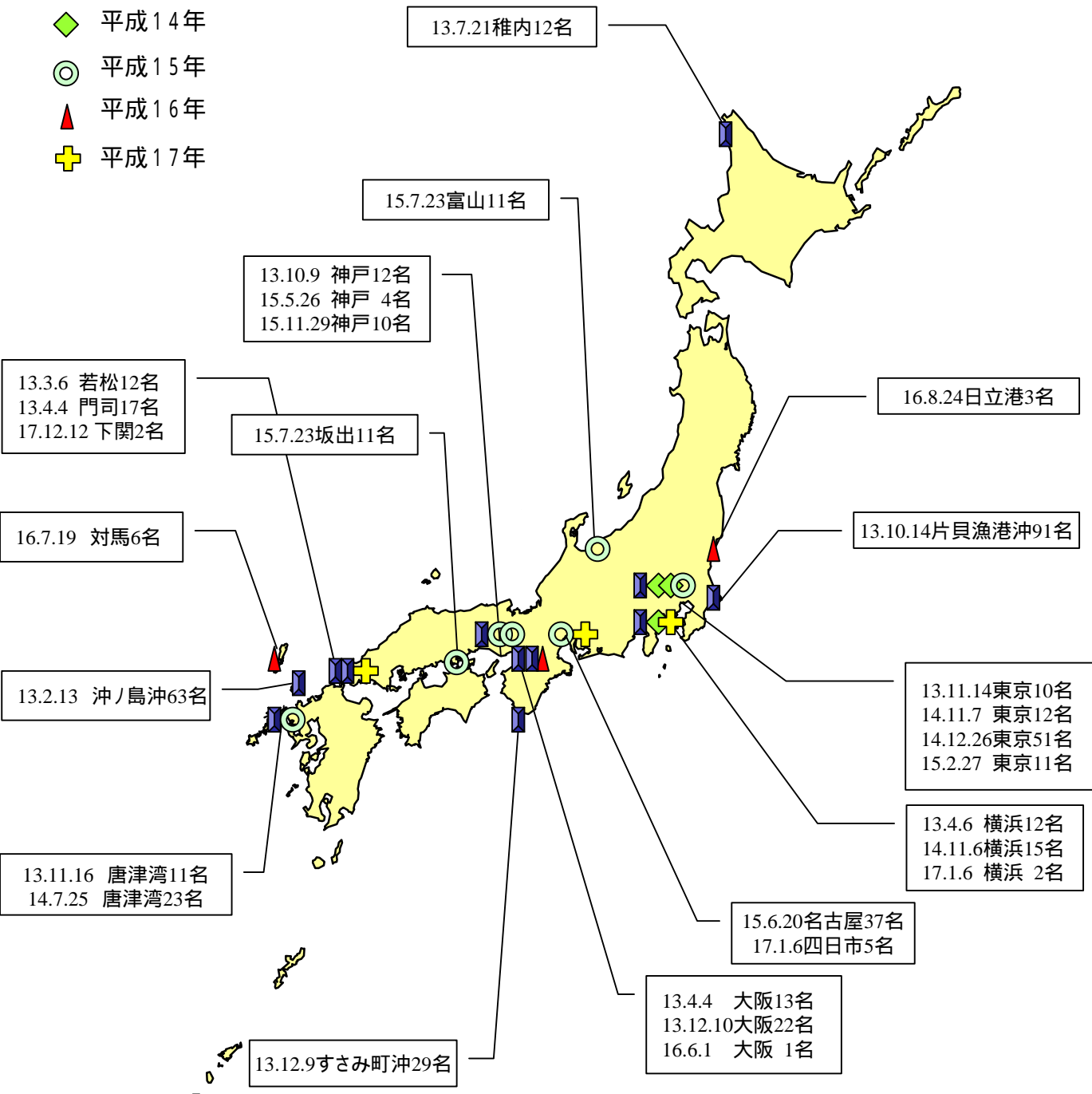
(注) その他の国籍内訳(韓国、インド、スリランカ、ベトナム等)

過去の主な船舶利用集団密航事例

(平成13年～平成17年)

警察検挙分を含む

- 平成13年
- ◆ 平成14年
- ◎ 平成15年
- ▲ 平成16年
- +



(注) 「集団密航」とは、2名以上で密航してきたものをいう。
 平成13, 14, 15年については、密航者10名以上
 平成16, 17年については、密航者2名以上の事犯を計上

平成17年の主要事件概要（密航）

同一貨物船によるコンテナ密航・潜伏密航事件

平成17年1月6日、四日市港において、中国大連仕出しのパナマ籍コンテナ船「SITC DALIAN」から陸揚げされたコンテナに潜伏し不法入国した中国人密航者5名を警察が逮捕した。

同船は既に横浜港に向け四日市港を出港していたため、同日、横浜海上保安部が、横浜港に入港した同船を船内検索したところ、さらに同船船倉内に潜伏していた中国人密航者2名を発見、不法入国容疑で逮捕するとともに、営利目的の助長船員1名を逮捕した。



SITC DALIAN



発見直後の密航者

(参考事件)

不法出国企図事件

4月15日、下関港を出港予定の韓国船籍フェリー「SEONG HEE (ソンヒ)」で、不法出国を図ろうとしていた韓国人5名(男1名、女4名)を下関警察署が逮捕した。さらに下関海上保安署は、4月17日、同船に対し、船員の関与について調査したところ、同船の韓国人船員1名の関与が明らかになり、同人を不法出国企図幫助容疑で逮捕した。

その後の捜査で、このうち数名は過去に本邦へ不法入国し、密航斡旋組織に斡旋され不法出国を図った事が判明したので、ICPO等を通じ韓国捜査機関へ情報を提供、韓国において、海洋警察庁等の捜査により本件関係者が逮捕され、日韓両国を跨いで暗躍する密航斡旋組織を壊滅させるに至った。



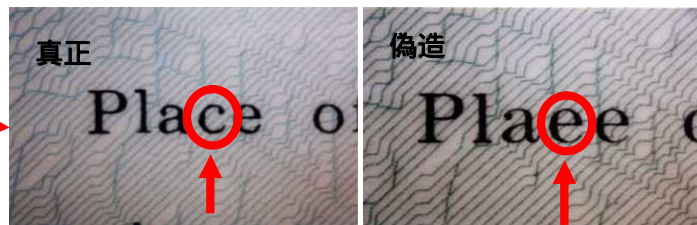
SEONG HEE (ソンヒ)

偽造船員手帳による中国人船員の不法入国事件

玉野海上保安部は、10月17日、岡山県東備港(片上)に入港したツバル籍貨物船「SOPHIE (ソフィー)」の立入検査を実施したところ、10名中7名の中国人乗組員の船員手帳に偽造等の疑いを認めたことから、出入国管理及び難民認定法違反(不法入国容疑)で同7名を通常逮捕した。



偽造船員手帳



例) 英字表記の綴り間違いが認められる

参考事件は船舶利用の集団密航の統計には計上していない。